



NME News

Nutritional Management Expert News

栄養経営士のための情報紙

2022
8月号

●発行/一般社団法人
日本栄養経営実践協会
(JANMP)
〒104-0032
東京都中央区八丁堀3-20-5
S-GATE八丁堀9階
●制作/株式会社日本医療企画

お問い合わせ先/一般社団法人 日本栄養経営実践協会 事務局 TEL.03-3553-2903 FAX.03-3553-2904 <http://nutrition-management.jp>

第7回「全国栄養経営士のつどい」東京大会 開催直前情報！

栄養経営士の力を合わせ 苦境を乗り越え新時代を拓く

第7回「全国栄養経営士のつどい」東京大会「栄養経営士の時代がやってきたー知識と志で挑む新時代の栄養ー」(於:東京国際フォーラム会議室G407)の開催が来月の9月11日(日)と迫ってきた。今回は開催直前情報として、確定した全プログラムを紹介する。

他職種の期待に応えられる知識と力を持つという開催まで1カ月を切った東京大会のプログラムが決定した。

当日は主催者である宮澤靖代表理事が開会のあいさつではじまり、次に水野英彰氏(医療法人社団 悦伝会 目白第二病院副院長)による基調講演「超高齢社会に立ち向う栄養経営士に期待されるアウトカムとされるアウトカムとは？」が行われる。医療現場の第一線で活躍する医師であり、また病院経営に携わる副院長でもある水野氏が、両方の立場から患者治療や病院経営のために栄養経営士に期待することを語る。

特別後援となる今村英仁氏(公益財団法人 慈愛会理事長/日本医師会常任理事)は「病院の栄養部門が抱える課題とこれからの管理栄養士への期待(仮)」と題して、病院給食管理と臨床栄養管理という病院管理栄養士が抱える二大業務について講演を行う。今回は事前収録での講義となる

が、聴講すれば今後の業務マネジメントの参考になることは間違いない。栄養経営士による実践報告では、発表者7名が各自の取り組みについて報告する。業務改善、スタッフ教育、

病棟常駐に向けた挑戦など、興味深い内容が出そろっている。ぜひ仲間の奮闘と活躍を聞き、そこで得た知識や経験を自院に持ち帰って自院での活動に役立てていただきたい。今号の第2面には発表者

のコメントも用意している。ぜひ確認を。最後はオンラインサロン特別版で、いつもは会員限定でZoomを用いて開催しているサロンをリアルで開催する。質問の事前募集はもちろん、当日も受け付けているので悩みがあれば気軽に相談して欲しい。

会場・オンライン共にまだ参加者を募集している。詳しくは下記告知から専用サイトを確認していただきたい。一人でも多くのご参加をお待ちしている。

特別後援となる今村英仁氏(公益財団法人 慈愛会理事長/日本医師会常任理事)は「病院

第7回「全国栄養経営のつどい」東京大会 プログラム

| | |
|---------------|---|
| 基調講演 | 超高齢社会に立ち向う栄養経営士に期待されるアウトカムとは? 水野英彰 医療法人社団 悦伝会 目白第二病院副院長 |
| 特別講演 (事前収録) | 病院の栄養部門が抱える課題とこれからの管理栄養士への期待 (仮) 今村英仁 公益財団法人 慈愛会 今村総合病院理事長 |
| 栄養経営士による 実践報告 | 患者を理解してトータル面から支えるために 勝山 祥子 医療法人ベテール てんかん専門病院ベテール 栄養科・科長候補 |
| | 栄養部門の業務改善を考える～当院の場合～ 竹下 尚美 医療法人山部会 上代成城病院 栄養部 |
| | 当院の栄養指導、栄養管理の教育方法について 伊藤 典子 医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院 栄養管理センター主任 |
| | SCUにおける栄養プロトコル導入とその効果 笠井 由季 医療法人 深仁会 手稲深仁会病院 栄養部統括主任 |
| | いつかきつと病棟常駐～今やる事でできる事～ 木村 千恵里 財団法人北海道医療団 帯広第一病院 栄養科科長 |
| | 新人教育プログラム実施後の効果と今後への展望 菅野 未希子 医療法人 深仁会 手稲深仁会病院 栄養部統括主任 |
| スペシャルセッション | 栄養経営士サロン～栄養経営士の悩みを解決! マネジメント・キャリアプラン・業務改革・勉強法 etc 何でも聞いちゃおう <座長> 宮澤 靖 一般社団法人日本栄養経営実践協会代表理事 田中 智美 一般社団法人日本栄養経営実践協会理事 西岡 心大 一般社団法人日本栄養経営実践協会理事 |

第7回「全国栄養経営士のつどい」東京大会 参加受付中

開催日: 9月11日(日) 栄養経営士の時代がやってきた! — 知識と志で挑む新時代の栄養 —

◆全国栄養経営士のつどい 10:00~17:00 (予定) ◆事前参加登録料

◆会場: 東京国際フォーラム会議室 G407 (東京都千代田区丸の内 3-5-1)

◆現地とオンラインのハイブリッド形式で開催します。

日本栄養経営実践協会会員 5,000円(税込)
栄養経営士資格認定基礎講習修了者 6,000円(税込)
一般 7,000円(税込)

※現地をオンラインのハイブリッド形式で開催します。

お問い合わせ・参加申込はウェブから <https://www.nutrition-management.jp/gathering/>



一般社団法人 日本栄養経営実践協会
The Japan Association for Nutritional Management Practice

第7回 全国栄養経営士のつどい 東京大会 栄養経営士による実践報告・発表者コメント

●報告テーマ

患者を理解して トータル面から支えるために

医療法人ベテール てんかん専門病院ベテール
栄養科・科長候補 勝山 祥子さん

2019年の大阪大会の際にも現場報告をさせていただきましたが、あれから3年が経過し、世の中が180度変わってしまいました。未だ日常が戻ってこないことに戸惑いを隠しきれない状況です。

そういった環境のなか、患者さんは必要な医療も満足に受けられない、入院できて面会が簡単にはできないなど不自由な思いをしている方も多いようです。寂しい思いをしながらも口に出さずに治療に励んでいる患者さんのために、私たちができることは何か?ということで、さまざまな業務改善に取り組みました。それをぜひとも栄養経営士の皆様と共有したく応募させていただきました。当日はリモートでの参加になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

●報告テーマ

SCUにおける 栄養プロトコル導入とその効果

医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院
栄養部統括主任 笠井 由季菜さん

栄養経営士となり約2年。この度、つどいにて実践報告をさせていただきました。病院管理栄養士として長らく携わった栄養サポートチームにおいて、2021年8月に脳卒中ケアユニットでの栄養プロトコルを立ち上げ、導入しました。業務タスクシフト、シェアがより一層求められている昨今、栄養プロトコル導入によって、得られた成果、課題を報告いたします。

まだまだ経営士として未熟であり、ともに報告する栄養経営士の皆さまの報告やパネルディスカッションを通じて学び、今後の成長につなげていきたいです。

参加される皆さまにとっても有意義なつどいとなるよう、精一杯がんばります。どうぞよろしくお願いいたします。

●報告テーマ

いつかきっと病棟常駐 ～今やる事できる事～

財団法人北海道医療団 帯広第一病院
栄養科科长 木村 千恵里さん

2022年度診療報酬改定の重点課題として、安心・安全で質の高い医療の実現のための働き方改革等の推進が掲げられており、各職種がそれぞれの専門性を十分に発揮することや、チーム医療の推進等が求められています。

勤務先の施設基準はこれらに基づく新しい算定条件には満たない現状です。とはいえ、重点課題は算定の可否に関わらず「今から」取り組んでいかなければならないことであると、協会からの情報提供や会員の皆さまの取り組み紹介で認識を新たにしました。置かれている現状で目標に向かうにはどう進むべきか、実践途中ではありますがご報告させていただきたいと思っております。

●報告テーマ

栄養管理室から病棟での栄養管理へ ～タスクシフトシェアを目標に～

洛和会ヘルスケアシステム 洛和会音羽病院
栄養管理室課長(統括) 長谷川 由起さん

私は常々、病棟(患者さんの近く)で、医師や看護師、他職種スタッフとともに栄養管理を行えるような病院にしたいと思っていました。

患者数、病棟数が多く、管理栄養士の人数が少ない環境のなか、管理栄養士だけでなく、多くの事務・他職種スタッフの協力を得て、試行錯誤しながら体制づくりに取り組んできました。管理栄養士の仲間が増えたことで、以前より多くの患者さんにそして早くから関わられるようになったと実感しています。目標としている栄養管理のため、自律した管理栄養士の育成が自施設では課題ですが、これまで取り組んできたことを報告したいと思います。

●報告テーマ

当院の栄養指導、 栄養管理の教育方法について

医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院 栄
養管理センター主任 伊藤 典子さん

今回、当院独自の栄養指導、栄養管理の教育方法について発表させていただきます。当院は急性期病院で、若手管理栄養士が多く所属しています。個々の患者さんに合わせた栄養指導、栄養管理が必要であり、どのような教育方法が良いか悩み、今もその課題に取り組んでいます。

今回発表する教育方法は、長年かけてスタッフとディスカッションと改善をくり返してできたものです。「全国栄養経営士のつどい」を通して、同じ悩みを持っている方と一緒に考え、解決の糸口が見つかる場となればと思います。よろしくお願いいたします。

●報告テーマ

新人教育プログラム実施後の 効果と今後への展望

医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院
栄養部統括主任 菅野 未希子さん

この度は実践報告の機会をいただき、関係者の皆様には感謝申し上げます。当院で立ち上げた教育プログラムの内容を報告させていただきます。

まだまだ課題は多いのですが、数年間実践してきた内容をアウトプットすることで新しい気づきを得ること、また、発表を聞いてくださった皆さまからのご意見やアドバイスを頂戴することで改善につなげたいと思い、発表させていただきましたことになりました。

今から大変緊張しておりますが、よろしくお願いいたします。

●報告テーマ

栄養部門の業務改善を考える ～当院の場合～

医療法人山部会
上代成城病院 栄養部 竹下 尚美さん

当院は82床の開院5年目になる比較的新しい病院です。全国の栄養経営士の皆様に御覧に入れるような革新的な取り組みができていたとは言えませんが、中小規模施設の管理栄養士が直面しがちな泥臭いリアルに、“栄養経営士として”どう立ち向かったかを現在進行形でまとめてみました。発表を通じて、他施設からのご意見をいただけると幸いです。よろしくお願いいたします。

※順不同

当日は7名の栄養経営士が、それぞれの職場で取り組んでいる内容を発表します。取り組みに至った背景、成功・失敗事例の紹介や原因の分析、現在の状況、今後への考察や希望など、ひとつの発表からいくつもの貴重な経験や情報を得ることができるはず。

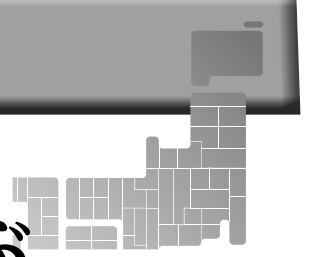
ぜひ「第7回 全国栄養経営士のつどい」に参加して、仲間たちの発表を確認してください!

★大会は会場・オンラインのどちらでも参加可能です!

参加申込・詳細は本誌第1面の告知にあるQRコードからご確認ください。

支部NEWS

九州支部



【九州支部】セミナーレポート

脳卒中予防を中心に脳神経疾患の基礎を学ぶ

管理栄養士のための基礎医学講座～脳神経疾患編～

日本栄養経営実践協会九州支部は7月16日(土)、「脳神経疾患」をテーマとした「管理栄養士のための基礎医学講座」を開催しました。この講座は管理栄養士が業務を行う上で必要な、基礎的医学の知識習得が目的とし、年に2回行っています。講師は九州女子大学家政学部栄養学科教授の三浦公志郎氏が務め、会場での講座とライブ配信を行いました。

脳梗塞の病態について基礎から振り返りCT、MRIの違いを説明

三浦氏は今回、脳梗塞を取り上げる理由を「脳神経疾患のなかでも脳卒中と認知症は日常でよく見る疾患でありながら、どちらも治療・回復が難しい。要介護および寝たきりの原因として最も多い疾患で、管理栄養士が理解しておくことが予防にもつながるからです」と受講生に伝えました。

講義は午前中に脳卒中、午後に認知症を中心に行いました。まず、脳神経の構造と脳に栄養を送る動脈について、基本的な振り返りを行いました。現在、脳卒中のなかでは脳梗塞が最も多く、生活習慣等に起因する動脈硬化が原因となっています。さらに脳梗塞や脳出血の病態と症状について、それぞれポイントを説明しました。

次に、受講生からの質問が多いCT(コンピュータ断層撮影)やMRI(磁気共鳴画像)など

の脳の画像診断について講義をしました。まずCTは、「X線を利用して物体をスキャンし、コンピュータを用いて処理をすることで、物体の内部を見ることが出来る技術」と説明。主に内蔵型肥満の診断に使われています。画像の向きは、上が患者の体の前、下が患者の体の後ろ、左が患者の体の右、右が患者の体の左。CTの画像は、脳梗塞を起こすとX線が通りやすくなって黒くなり、脳出血では出血した場所が白くなり、クモ膜下出血では本来脳髄がある場所に出血が起こって白くなる等、詳しく紹介しました。

MRIは核磁気共鳴現象を利用して、画像を得る方法。CTに比べて検査時間が長く、騒音がするなどの欠点がありますが、放射線被ばくがなく、脳梗塞超急性期に有用となります。

CTとMRIの画像の違いは大きく分けて、骨が真っ白に映っているものがCT、骨が真っ黒なものがMRIと区別しています。画像については、同じ部分でも表示の仕方を変えることによって特定の病気を発見しやすくなることが可能だと説明しました。

認知症の症状の違いを画像で説明業務に直結した質疑応答も

午後の認知症についても、最初に基本的な病態について説明しました。アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、レビー小体型認知症など、認知症といっても違う症状であることを脳の

画像を用いて解説しました。食事については「食事炎症指標は認知症のリスクの増大と関連する」などの最新の論文について紹介しました。

講義の残り30分間は質問タイムとし、受講生からは多くの質問があがりました。「小脳梗塞は嘔気の改善が遅いのはなぜか。また嘔吐も繰り返すので栄養投与は経口が難しく、経鼻栄養が良いか悩む」という問いに対して、三浦氏は「小脳は運動の学習をする場所で、それが障害されると歩行障害などが起こる。そのため吐き気が治りにくい傾向がある。経鼻栄養にするのが無難だと思う」と答えました。

受講生からは「普段なんとなく理解していた部分が明確になり、他の受講生からの質問も参考になった」と、日々の業務の振り返りになっているようでした。

食事と認知症

ケトン食が認知機能の低下を防止する可能性。
Ketogenic Diet for the Treatment and Prevention of Dementia: A Review.
Davis JJ, et al. (2021) J Geriatr Psychiatry Neurol. 2021 Jan;34(1):3-10. PMID: 31996078 Review.

食事炎症指標(dietary inflammation index)は、認知症のリスクの増大と関連した。
Diet Inflammatory Index and Dementia Incidence: A Population-Based Study.
Charisis S, et al. (2021) Neurology. 2021 Dec 14;97(24):e2381-e2391. PMID: 34759053

パンの摂取量が多く、肉や魚の摂取が普通で、野菜や果物の摂取が少ないことが僅かではあるが有意な認知症発症の減少と関連した。
Diet and Dementia: A Prospective Study.
Takeuchi H, Kawashima R. (2021) Nutrients. 13(12):4500. PMID: 34960052

ビタミンK摂取不足が認知機能低下と関連する。
Association of Vitamin K Insufficiency With Cognitive Dysfunction in Community-Dwelling Older Adults.
Azuma K, et al. (2022) Front Nutr. 8:811831. PMID: 35174198 Free PMC article.

毎回、三浦氏からテーマに沿った最新の研究論文が紹介される



★新会員サービス「オンラインサロン」大好評開催中!

栄養部門の赤字改善は無駄な業務の見直しから!

本協会の栄養経営士・栄養経営サポーターのみが無料で参加できる「オンラインサロン」。第18回は6月30日(水) 18:30より行われました。協会からは宮澤靖代表理事、真壁昇理事、山下茂子理事、田中智美理事が出席し、参加者の質問や悩みに対しみんなで意見を出し合いました。

この日最初の質問は、赤字が続く栄養部門の建て直しについて。「6クリニックで123床、管理栄養士6人で栄養指導は280件/月だが赤字が解消できない」という質問者に、まず事務局が参加者に対し「赤字解消に向けた取り組みをしているか」というアンケートを取ったところ、しているが40%、していないが60%となりました。

「していないに入れました」と話した真壁理事は「恩師がいつも『管理栄養士の質が高まれば赤字にはならない』と言い、診療報酬を追い求めると患者さんのためにならない方に動いてしまうこともあると習ってきたので」と回答。その恩師である宮澤代表理事は「良い師匠についてたねえ」とお約束?の返しをした後で、「栄養部門が赤字になることはない。赤字になるなら、それは取り組み方が違うから。間違っているところを組み直せば黒字になる」と話しました。続けて「診療報酬では、管理栄養士は患者とコンタクトしないと金がもらえない仕組みになって

いる。厨房や事務所には1円も課金されない。その仕組みをまず理解して欲しい」と説明し、「赤字の大きなところを調べ、人件費が大きいならそれを上回るよう患者とコンタクトする、完調品や再加熱クッカー等を利用して人を減らし管理費が抑えられる方法を検討するなどしては。ただ、人件費も安易に削るのではなく、どうやって無駄な業務を減らして、加算が取れる業務に変えるかを考えて」と提案しました。

次に同じ質問者からの「抗菌剤を減らせたという数字の出し方を教えて欲しい」という問いに対し、宮澤代表理事は「抗菌薬の使用量は薬局・薬剤師さんに聞けば教えてくれる」と説明しつつ、「上にプレゼンするときは、絶食率を減らせば輸液が減り、栄養状態が良くなれば免疫力が高くなって感染症が減るというストーリーを説明して。そして頭では他の要因もあるとわかっているけど、『全部栄養士の力です』と言い張ることも重要」と紹介しました。また「収支報告時には、栄養部門は数字に出せないクオリティの部分も出さないとダメ。単なるインアウトでは負ける。患者の満足度、医師・看護師の業務の軽減なども入れて」と効果的なアピール方法も伝えました。

最近は食材費の高騰が続く、単なる収支報告では厳しい場合も多いと思います。そんなときはぜひクオリティ面のアピールもお忘れなく!

「オンラインサロン」は今後も月に1回のペースで実施する予定です。全国の栄養経営士や理事の先生方と直接交流できる、会員ならではの貴重な機会ですので、ぜひ奮ってご参加ください。

▼6月30日(木)の話題

- ・赤字が続く栄養部門、解消するための取り組みについて何か良い案があれば教えて
- ・「栄養管理により抗菌薬を減らせた」という金額はどうやって調べればいい?
- ・コロナ患者の食時提供について通常食器に戻すときに留意することはある?
- ・栄養管理計画書の再評価の期間、モニタリングのタイミングと記録についてどうしてる?
- ・病院給食、患者の要望を反映すると毎回混雑が。どこまで要望を聞いている?
- ・給食でお茶は配ってる? 中身はほうじ茶?
- ・学会での発表活動はどのように指導してる?
- ・ICUと周術期ではどうデータを取ればいい?

■栄養経営士 オンラインサロン

◇開催日時:10月下旬予定 18:30~

※全国大会でも特別編を開催します。ぜひご参加ください!

◇参加対象:栄養経営士・栄養経営サポーター

◇受講料:無料

◇開催形式:オンライン配信(Zoom)

※お互いの顔を見ながら会話をするので、カメラ・マイク機能が使えるパソコン・タブレット等をご用意ください

※後日、アーカイブ配信もあります

※個別の症例の相談にはお答えできません

栄養経営士が知っておきたい!

イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

※新型コロナウイルス感染症対策で、イベントが中止になる場合があります。必ず最新情報を確認してください。

セミナー情報

栄養WEBセミナー緊急企画 コストカットと栄養管理の両立 今、考えるべき具体的提言

材料費や人件費の高騰で給食管理業務が赤字となり、病院の経営コストを圧迫する状況で、病院管理栄養士は何を行うべきか? 医療現場の最前線で活躍中の講師が具体的提言を語ります。

○日程: 9月4日(日)13:00~15:30

[見逃し配信: 9月15日(木)~10月14日(金)]

○講師: 原 純也氏(日本赤十字社武蔵野赤十字病院栄養課 課長、(公社)日本栄養士会 常任理事)

渡辺正幸氏(一般社団法人上尾中央医科グループ協議会部門支援本部/管理栄養士)

○参加費: 無料 ○形式: オンライン(ZOOM)

○定員: 500名

○主催/お問い合わせ: 株式会社日本医療企画
TEL:03-3553-2885



協会事務局より

2022年8月期限の会員の皆様へ 【年度会費納入および資格更新のご案内】

本年8月に年度会費・会員資格の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年度会費納入および資格更新のご案内を郵送しております。支払期限は過ぎておりますが、事務局ではまだ対応しておりますので、対象の方はご確認およびお手続きのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○年度会費: 有効期限が2021年8月20日~2022年8月19日の方
【個人正会員】10,000円

【栄養経営サポーター】8,000円

○資格更新: 会員資格が2019年8月20日~2021年8月19日の方
【個人正会員】15,000円(年度会費込み)

※申請書類・課題をご提出ください。

【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)

○お問い合わせ: 一般社団法人日本栄養経営実践協会 事務局
TEL:03-3553-2903

重症心身障害児(者)施設での 栄養アセスメント・食事療法

(お問い合わせ)
太陽化学株式会社 メディケア事業
Mail: support@taiyo-medi.com

重症心身障害児(者)の栄養管理においては、健常児(者)の栄養アセスメントをそのまま適用することが難しく、個別対応・個別評価が求められます。本セミナーでは、そのような医療的ケアが必要な方への栄養管理の視点や普段意識している点について、方城療育園の松岡管理栄養士より詳しくお話いただきます。

日々の栄養管理に難渋されている方、食事を召し上がっていただくことに苦労されている方など、ぜひご視聴ください。

プログラム

- 栄養障害のスクリーニングの意義
- 具体的な栄養アセスメント ●栄養療法の選択

2022年
9月16日(金)~25日(日)

※60分(講演50分、情報提供10分)

〈開催方法〉

オンライン開催(オンデマンド配信)

〈受講料〉

無料

詳細・お申し込みはここから! ▶



講師



まつおか しゅうじ
松岡修史氏

社会福祉法人 方城福祉会 方城療育園
栄養管理課 課長
管理栄養士、NSTコーディネーター、病態
栄養専門管理栄養士

LINEからもセミナーの詳細確認・申込ができます!

太陽化学の公式LINEをお友達登録すると、セミナー情報や商品サンプル請求、勉強会への登録などオトクな情報がたくさんゲットできます! ぜひお友達登録してご活用ください!



「栄養経営士」資格認定基礎講習DVD



資格認定試験の受験前に、「栄養経営」という考え方を理解するために受講いただく講習です。本講習の受講が、栄養経営士資格認定試験の受験要件となります。

DVD視聴による受講が可能!
☆3枚組、特典映像付き☆

栄養経営士も会員価格で聴講できます!

(こんな方におすすめ)

- ・会場で受講したが、内容を復習したい
- ・栄養経営士の方向性を、改めて確認したい
- ・栄養経営士として、もう一度、話を聞きたい ……

本編(収録時間/DISC 1: 90分、DISC 2: 73分)

1. 院内・施設内における栄養部門の現状分析
2. 目標設定能力と達成に向けた実践的アプローチ
3. 業務の質を高めるためのアウトカム分析
4. 「栄養経営士」に求められる教育と人事能力
5. 適材適所の組織マネジメント
6. 病態の把握能力

特典映像(収録時間/DISC 3: 約30分)

観てわかる! 近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて

■講師: 宮澤 靖 代表理事ほか

■受講料: 8,500円(税込) 会員価格: 3,850円(税込)